

## 第3 / 回運動会において



### 今年の運動会テーマ

仲間と一致団結し、全力で勝利をつかみ取ろう！

過日ご案内いたしましたように今年度は、全市で6月4日(土)の午前開催で運動会を実施予定です。本校でもコロナ禍ではありますが、学校行事である運動会の目的を達成するため、子ども達の意欲や主体性、体力向上につなげるとともに、運動する楽しさを味わうことができるよう協議を重ね、開催に向けて準備を進めてきました。

これまでのように全校一斉(今年度は低中高のブロック別を実施します)での運動会はできませんが、気持ちだけでも全校が一致するよう6年生が今年度の運動会テーマを決めてくれました。

6月1日(水)の4校時には、Google Meetを活用し、「赤白がんばろう集会」を実施します。6年生から全校児童に熱いメッセージが送られることでしょう。

運動会の取組や活動を通して、子ども達の絆が深まり、思い出のひとつとして記憶に刻まれてくれることを願っております。

コロナ禍のため、様々な制約のもと開催いたします。どうぞご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、運動会の練習や「赤白がんばろう集会」の様子は次号で紹介していきます。

### 相談窓口「おなやみポスト」が開設されます(5月30日より)

あなたの悩み、学校までとどけませんか？

「おなやみポスト」は、児童のみなさんが学校や先生に伝えたい(直接は伝えにくい)ことを、教育委員会を經由して学校に届けるポストです(北海道教育委員会のWebページに相談を受け付ける窓口が開設されます)。相談内容は教育委員会や学校と速やかに共有できるシステムにより、実情に応じた支援が受けられます。また、児童が学校で使用している端末(クロームブック)の画面上のアイコンからもアクセスすることができます。

詳しいことは本日お配りしました案内チラシでご確認ください。

### おしらせ

今号のタイトルは、「紅花栄(べにはなさかう)」「七十二候のうちの一つです」。あたり一面に紅花が咲く頃の様子を表しています。紅花は古代エジプト時代から染料として利用されていました。花びらの水に溶ける黄色の色素と、水に溶けない赤の色素から、紅色がつけられました。紅花をはじめ、万物がすくすく成長していく様子を表しています。

# 新たなPTA活動 = 「森の里スタイル」が始動します

今年度からPTA活動のボランティア制「森の里スタイル」をスタートさせ、その活動のあり方が大きく変わります。過日、ボランティア活動の参加希望を提出いただきました。短い期間でしたがご協力ありがとうございました。今後、皆様のお力添えをいただきながら進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

見守り活動をスタートさせます。

子ども達の登校時の見守りは、「森のくまさん見守り隊」の八木さん、森さん、久門さんに年間を通じてご協力いただいておりますが、校区内のすべてを見守ることはできません。

そこで、朝の登校見守り活動にご協力いただける方を募ったところ、8名の方々にご協力いただけることになりました（5月27日現在）。紙面でのご紹介となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

また、多くの大人の目を子ども達の安全安心につなげていきたいと考えております。お忙しい時間帯ではありますが、ご協力いただける方はご連絡いただければ大変ありがたいです。

見守り活動協力者のみなさん \*令和4年5月27日現在

沼田さん（2年1組）	内藤さん（2年1組）	高田さん（2年2組）
田頭さん（2年2組）	中道さん（2年2組）	水島さん（3年1組）
佐藤さん（5年1組）	宇佐美さん（6年1組）	

緑園ブロック危険マップより（本校校区分）



## 今年度の教育活動の重点について VOL②

次号からの続きとなります。今号では、「豊かな心」を育む方策について紹介しています。

### 3 目指す姿と具体的方策について

#### 「徳」心豊かで思いやりのある子を育てるために

- 【目標】 ●物事に責任を持ち、明るく心豊かな子どもを育てる。  
● 友だちと仲良く協力し合い、思いやりのある子どもを育てる。

#### <具体的方策>

- あいさつと返事、環境整備をあらゆる機会を利用して徹底する。
- 子どものよさを『認め』、『褒め』、『励ます』指導を全校で展開する。
- 生徒指導の3つの機能（①自己決定を行う場を設定し、②自己肯定感を高める関わり合いの中で③共感的な人間関係）を構築する。
- 情報モラルの指導を継続する。
- 教育相談の工夫と充実に努める。（声かけ、目配り、定期的ないじめアンケート調査の実施）
- SSW（ソーシャルスクールワーカー）やSC（スクール・カウンセラー）を積極的に活用する。
- 全校共通した『生活のきまり』を定着させる。
- 異学年交流活動のあり方を工夫し充実させる。
- 「特別の教科 道徳」の授業を積極的に公開し、家庭や地域社会との共通理解を図る。
- 毎月安全点検を実施し、整理整頓された教室・安全できれいな学校を心がける。
- 広瀬牧場や百年記念館等の関係機関との連携を図り、体験を通して生命や自然を大切にすることを育む。
- ゲストティーチャー等を積極的に活用を通してキャリア教育の充実を図り、将来の夢や希望を育む。
- 特別支援教育コーディネーターを中心に共通理解を深め、保護者や関係機関との連携を図る。



